

圖版VII

雑誌名	東北帝國大學理學部地質學古生物學教室研究邦文報告
卷	37
発行年	1942-04-30
URL	http://hdl.handle.net/10097/00110833

圖 版 VII

- (1) Nabire 層. Boemi Damar 丘陵を刻下する川の谷壁に於ける露頭. 下流に向つて僅に傾斜せるを示す. NS, W10°. s~砂層, c~礫層.
- (2) Airjdato 層. Boemi 溪谷第 II 區. Senen~Airjdato 間河岸に於ける角礫質礫岩 (b) の露頭, この上に不整合に埋木を含む粘土の薄層を挟んで砂層 (s) がある. 此等は Nabire 層に屬す. 中央は筆者.
- (3) Airjdato 層. Airjdato の小屋前 Oetara 谷底に於ける露頭. 砂岩, 頁岩が互層 (s) し走向 EW, 傾斜 N30° を示す.
- (4) Darman 川上流に於ける異剝岩 (d) の露頭.

第 VII 圖 版



(1)



(2)

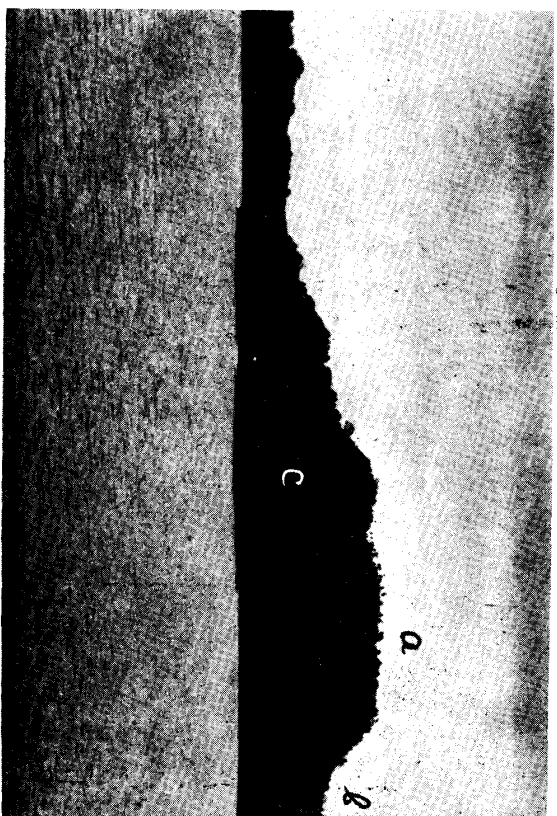


(3)



(4)

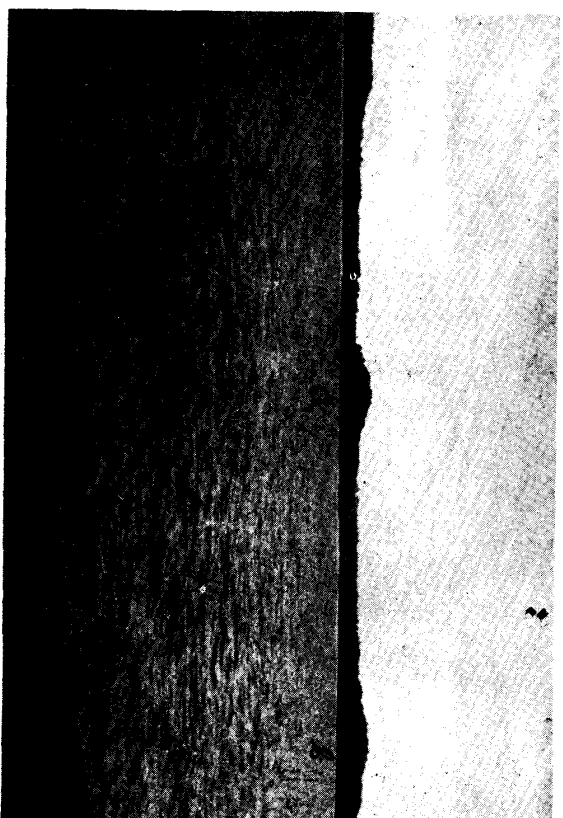
第 VIII 圖 版



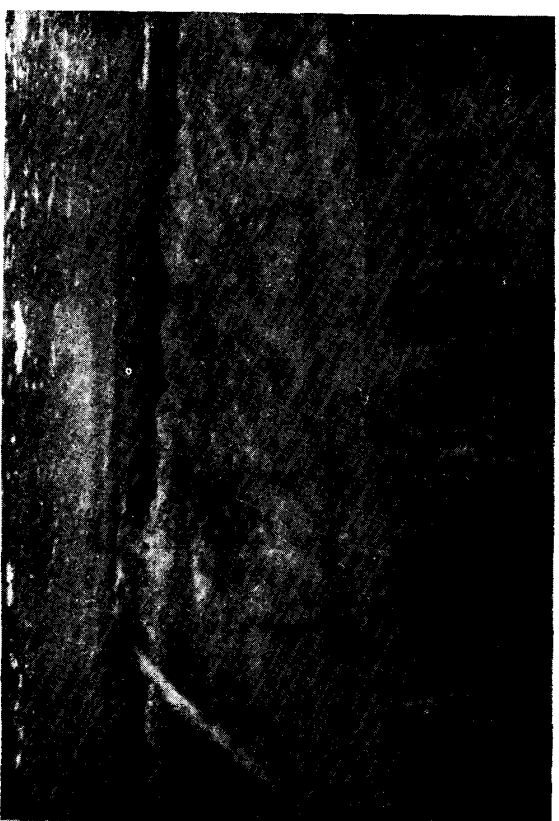
(1)



(3)



(2)



(4)